

平成29年度 基本事業評価シート（平成28年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 03 道路網・公共交通体系の整備
基本事業 04 公共交通網の充実
主管課： 企画課
関係課： 都市計画課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	バス、鉄道等の公共交通による快適な移動を確保する。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

1日当たりバス利用者数		(人)		企画課	
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
3, 575. 00	3, 572. 00	3, 541. 00	3, 580. 00	3, 685. 00	3, 900. 00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成27年度と比較して、31人減少しています。 (原因) 路線バス、モコバスとも利用者数が減少しています。これは、新規のバス利用者を開拓できず、利用者が限定されている状態にあるからだと考えられます。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

1日当たり鉄道利用者数		(人)		都市計画課	
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
37, 497. 00	38, 039. 00	37, 676. 00	38, 000. 00	38, 500. 00	40, 000. 00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成27年度と比較して、363人減少しています。 (原因) 人口増加とともに増加傾向にあったつくばエクスプレス・常総線の利用者数も平成28年度は減少に転じてしまいましたが、今後、松並土地区画整理事業区域への入居者数が増加していくことで、利用者数の増加が見込まれます。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題としない				

公共交通に対する市民の満足度（バス）		(%)		企画課	
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
23. 30	22. 40	23. 50	25. 50	28. 00	30. 00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成27年度と比較して、1. 1ポイント向上しています。 (原因) 市民のバスに対する利便性への期待が高いため、市民ニーズを満たせるような公共交通網の再編やサービスの向上を図っていく必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

公共交通に対する市民の満足度（鉄道）		(%)		都市計画課	
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
74. 00	69. 00	69. 40	71. 00	72. 50	76. 00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成27年度と比較して、0. 4ポイント向上しています。 (原因) 市民の鉄道に対する利便性への期待度が高いものの、満足度自体はわずかながら向上しています。一方で、不便だと感じている市民の割合が増加していますので、その不便さを解消できるような取組を鉄道会社と調整していく必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	89,796	92,575	123,857	93,875	92,170
人件費	0	0	4,884	0	0
トータルコスト	89,796	92,575	128,741	93,875	92,170

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

人口の増加や高齢化が進み、公共交通へのニーズは高まっていますが、特にバス交通については、利用者が伸び悩んでいる状況です。平成28年度は、バスの利便性を高めるために、バスロケーションシステムや乗車時にＩＣカードが利用できるシステムを導入したので、これらをＰＲするとともに、平成29年度に公共交通へのニーズを満たせるような公共交通網の再編計画を策定することで、公共交通への満足度を向上できるよう取り組んでいきます。 また、つくばエクスプレスの更なる利便性向上のため、引き続き、沿線自治体等と協力し、東京駅延伸に向け取り組んでいきます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]